

2面からのつづき

大阪府吹田市

永田 昌範



この度、長寿善行者として東宮御所にお招きをいただき、皇太子殿下のご接見を賜りました。史上の栄誉と感謝申し上げます。

ご接見者百十四名が、東宮御所「日月の間」に通され、私は、前列中央に着席して皇太子殿下のご入室をお待ちいたしました。まもなく皇太子殿下が、お出ましになられ藤田会長より参内のご挨拶、参内代表より善行活動報告とご挨拶が申し述べられました。

皇太子殿下が、私の前で「吹田市からですね、どのような活動をされましたか」と優しくお言葉をかけて下さいました。「私は、少林寺拳法の指導者として、四十数年間青少年育成に努めてまいりました。又、吹田市自治会連合協議会会長、防犯協議会支部長として、安心安全の為、地域コミュニティ活動の取り組みでも取り組んでいます。これからも地域住民の思いやり、援けあい、隣組の大切さを意識した地域づくりに努めます。」と申し述べました。

沖縄県うるま市

糸数 昌弘



昭和六十四年より今まで青少年健全育成に携わって参りました。

東京都葛飾区

腰原 妍江



この度、長寿善行者として皇太子殿下のご接見の栄に浴し、深く感謝しているところでございます。当日は明治記念館に参集した後、徒歩で東宮御所に参内いたしました。

ご接見のお部屋に飾られた絵画を緊張しながら拝見していると、間もなく皇太子殿下がお出ましになり、前列に座った一人ひとりに親しくお声をかけられました。やがて私の前に来られた殿下は、明るくお声で「どのような活動をされたのですか」とお尋ねになりました。私は「子供たちの健全育成のための活動とか、バルーンを通じて老人ホームなどを訪問したりしてあります」と申し上げましたところ、「これからは頑張ってください」と励ましてくださいました。ご接見の栄に加え、殿下から親しくお言葉をいただき、生涯忘れ得ぬ日となりました。

その間、善行銅賞・銀賞を頂き、初心に帰り努めてきたところ、十月二十六日にご接見のご案内を頂き感謝の気持ちで一杯でした。

東宮御所にて着席している間緊張の連続でした。皇太子殿下が優しい笑顔で入室された際は、私の緊張もほぐれました。

皇太子殿下より「どうぞですか」とお言葉を頂き、「青少年健全育成に地域と共に頑張っております」と述べさせて頂きました。「今後も健康に留意されるように」と温かいお言葉を賜り、一生の思い出となり感激でいっぱいでした。善行会役員の皆さん有り難うございました。

長崎県佐世保市

金子 光彦



この度、長寿善行者のひとりとして皇太子殿下のご接見の栄を賜り、生涯忘れ得ぬことのない最高の栄誉と感謝申し上げます。

ご接見の日は晴天にめぐまれ、明治記念館に集合し、東宮御所まで約十分歩きご接見の間に案内されました。私は緊張のなか殿下のご入室をお迎えいたしました。藤田会長のご挨拶と善行者代表の活動発表ののち殿下は前列の一人づつの前に進まれ、笑顔でお声をかけられました。「どの

滋賀県守山市

戸崎 絢子



すばらしい秋空のもと、東宮御所へ参内いたしました。皇太子殿下のご接見を賜りました。活動についてのご下問をいただきましたので、更生保護女性活動を申し上げます。

「更生」がめざすのは、心身ともに健全な青少年の育成、犯罪や非行に陥った人たちの立ち直りを見守り、支えようとする活動するボランティアの女性が集う組織であること。

支部だより

群馬県・北毛支部

339名参加!
チャリティゴルフ
コンペの開催

収益金を児童養護施設・社会福祉協議会等へ寄付

当支部では、発足以来恒例となつた第十六回目の「群馬県・北毛支部チャリティゴルフコンペ」を、去る七月十八日(月)「伊香保国際カンツリークラブ」で開催いたしました。このコンペは、会員相互の融和・親睦と、県民への善行会活動の啓蒙、日頃の活動への理解

会員との交流を図ることを目的に、広く参加者を募り開催しているものです。当日は、339名という昨年と同数の多くの方に参加いただき、梅雨の合間明けで、曇間から太陽が降り注ぐという絶好のゴルフ日和となり、良好なコンディションに恵まれ、熱中症等も出ず、和気あいあいのうちに、無事全員ホールアウトいたしました。終了後の成績発表並びに表彰式において、支部長から善行会活動の趣旨及び北毛支部の活動内容等についてPR、参加者に善行会活動を改めて理解していただきました。当日、花500鉢を持ち

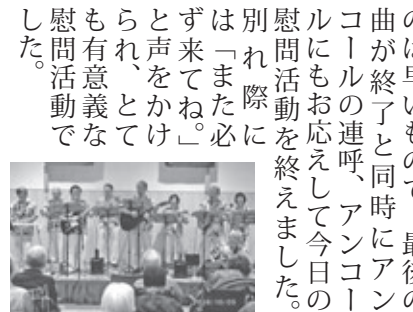
込み、当支部の「花いっぱい運動」にも協力をお願いしました。更に、支部女性会員によって作られた室内や車に飾る人形や動物のぬいぐるみを500体「交通安全・幸せの鶴」として参加者に配付しました。参加者から寄せられたチャリティ資金については、児童養護施設、地区社会福祉協議会や地方紙「上毛新聞」の「愛の募金」ほか善行会本部へも寄贈しました。この結果、財団法人上毛新聞厚生事業団から、感謝状を受賞したほか、同新聞にも掲載されました。

宮城県支部

ハワイアンバンドで
懐メロ慰問

去る十月五日(水)午後二時三十分から約一時間、会員が所属しているハワイアンバンド(イズミ・ハワイアンズ)と共催で市内北東部にある特別養護老人ホーム暁星園を訪れ、午後一時を懐メロを十七曲ボーカル付きで楽しんでいただきました。会場には入所者と職員、それに面会に来ていた家族も含めて約百名が、予め用意した歌詞カードを配った自然と歌声ホールとなり

曲目は「お嫁においでよ、思い出の渚、高校三年生、みかんの花咲く丘、故郷、月の砂漠、ラストダンスは私と、いつでも夢を、北国の春、知床旅情、鈴懸けの径、銀色の道、テネシーワルツ、ユアーマイサンシャイン、バラが咲いた」の十五曲を休みなしで一時間、どの曲も手拍子と歌声があり、楽しんでいただきました。楽しい時の時間が経つのは早いもので、最後の曲が終了と同時にアンコールの連呼、アンコールにもお応えして今日の慰問活動を終わりました。別れ際に「また必ず来てね」と声をかけられ、とても有意義な慰問活動でした。



宮崎県都城支部

研修会開催

二〇一六年十月十五日、谷口ミチ支部長主催で都城支部会員、大分から伊藤政子さん、江藤小夜子さん、東京都渋谷区支部石毛利雄氏が参加したの十五人の研修会が都城「招福善」で開催されました。岩佐法雄事務局長の司会により谷口ミチ支部長が今回は都城、大分、東京三地域からお集まりいただきこの研修会が開催でき稲刈りの繁忙期にも係わらず十五名の皆様にお集まりいただき有難うございますと挨拶された石毛氏と杉村義秀市議会議員の善行活動、少子高齢化問題等の講話が

ありました。続いて大分から参加の三味線と唄の名手伊藤政子さん、江藤小夜子さんの九州民謡「シャンシャン馬道」「島原の子守唄」「コッコッコ干切唄」がお披露目され、参加者全員うっとり聞き惚れました。その後懇親会に移り和気藹々の交流が続けましようとする会を続けましようとする会を開きとなりました。

